

生徒会 バトンタッチ 新生徒会長・副会長 決まる！ ～ 活かす伝統・生徒の創造～

12月11日(木) 来春1月に発足する生徒会の、会長候補者と副会長候補者による立会演説会、全校生徒による信任投票と選挙が実施されました。

選挙を控えた11月20日には、臨時生徒総会が開催され、生徒数減少に伴う生徒会役員の見直しが行われました。その結果、現在2名の副会長を1名とするよう生徒会会則が改訂されました。

生徒会長には1名が立候補し、副会長には6名が立候補しました。立会演説会では、最初に各立候補者の推薦者が、候補の推薦理由を力強く説明し、アピールに努めました。その後、各候補が選挙公約等を堂々と発表しました。各候補者とも、より良い吉田中学校を目指す、強い熱意が十分に感じられ、生徒会のリーダーとしてふさわしい候補者ばかりでした。



他候補の演説を聴く立候補者



湯立新生徒会長

立会演説会より ～立候補者の公約(抜粋)～

- ・「学校を綺麗にする」
トイレのスリッパを、全員が気をつけて揃えたり、ボールの片付けをするなど学校を綺麗に保ちたい。
- ・「楽しい学校生活」
イジメや仲間はずれ等がないようにし、全員が楽しい学校生活を送られるようにしたい。
- ・「挨拶をしっかりとする」
挨拶は以前よりもできていますが、もっと大きな声で「あいさつ」ができるようにしたい。

立会演説後、生徒会長の信任投票と副会長の選挙が行われ、生徒会長には、湯立龍幸さん、副会長には、瀬田衛さんが選ばれました。今後は、生徒会長、副会長を中心に、執行委員、各専門委員会の委員長・副委員長の選出に移ります。そして、来春より2年生を中心にした、新生徒会がスタートします。

3年生の皆さん、執行委員会を中心に各専門委員会で、一人一人が持てる力を十二分に発揮し、素晴らしい生徒会活動を展開してくれました。皆さんの残した足跡は、今後の生徒会活動に大いに活かされることでしょう。＝全員が協力し頑張りました＝

地域の先輩に学ぶ 身勝手な大人にならない ～ 将来の生き方を考える～

12月5日(金) 3年生を対象に、地域で活躍されている先輩から話を聞く、「生き方学習」を実施しました。この学習は、義務教育の終了を間近に控えた3年生が、責任ある社会人として自立する一助になればと企画・開催しました。

講師には、事あるごとにお世話になっている、渡部診療所の渡部素次先生(学校医)を迎え、「大人になれない大人が住む国・日本」と題しての講話をいただきました。講話では「社会全体が子どもを守り、社会のルールを大人が教える。そして、子どもはルールを学び覚える」という外国の話。子どもをパチンコや居酒屋に連れて行き、子どもを犠牲にして自分が楽しむ大人の話。子どものワガママや自分勝手に「個性」と称して、躰(しつけ)ができない大人の話など、子育ての色々を知ることができました。また、学校給食の際「お金を払っているのだから“いただきます”なんて言わなくてもよい」と教える大人。図書館で本を借り、必要な箇所を切り取ってしまう大人。救急車をタクシー代わりに使う大人の話等を聴きました。



貴重なお話 ありがとうございました



お礼は吉中米

生徒たちは、今回の講話から、身勝手に「大人になりきれしていない大人」についての様々な現実など、現代日本社会の多くの問題について、学び考えることができました。生徒一人一人が、責任ある社会人として成長し、吉田を島根を、そして、日本を支えてくれることを期待しています。私は、渡部先生の講話で「皆さんは、吉田に生まれ、しっかりとした大人に見守られ育てられ、本当に良かったですね」という一言が印象に残りました。

講話を聞いて ～生徒の感想より～

- ・日本には無責任で身勝手な大人が増えていることが分かった。そういう大人を見て育つ子どもは、間違いを当たり前と思い、大人になって損をする。社会のルールを守り、人に迷惑をかけない大人になる。
- ・話を聴いて、吉田はとても良いところだと思いました。保護者の方や地域の方など本当にたくさんの方に支えてもらい感謝しなければいけないと思いました。私は、身勝手な大人には絶対になりません。

学校薬剤師さんの講話 絶対ダメ“薬物使用” ～医薬品の正しい使い方～

全校生徒を対象に「薬の話」「薬物乱用防止」教室を12月2日(火)に開催しました。この教室は薬の使用について自己責任の自覚を持たせようと、学校薬剤師の武田妙子先生を講師に招き実施しました。

講義の前半では、医薬品の正しい使い方について説明を受け、薬は病気やケガを治療するために大事なものだが、使用方法を間違えたり体質に合わないものを服用すると、薬疹などの思わぬ副作用や事故を起こす恐れがあること。また、薬を服用する際の留意事項について学びました。

講義の後半では、今マスコミで大きく取り上げられている、大学生の大麻問題など、薬物乱用の防止について学習をしました。この問題は、身近に潜んでいる問題であり、中学生のこの時期にしっかりと学んで欲しいと実施しました。講義では、乱用される危険のある薬物にはどのようなものがあるのか。そして、薬物を乱用するとどうなるのか。(中枢神経がおかされ、幻覚や人格障害などにより心と体がメチャクチャになる)を学びました。生徒たちは、この学習を通して、『薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ」』を肝に銘じたことでしょう。



熱心な講話



真剣な表情の生徒

講話を聞いて～生徒の感想より～

- ・薬は、間違った量や飲み方を間違えると、副作用などの悪影響が出ることや、家族に合うからと言って自分が服用してはいけないことが分かりました。
- ・薬はいつ飲んでも同じだと思っていたけど、食前と食後では全く効き目が違うことを初めて知った。
- ・口を湿らせてから、コップ1杯の水で流し込まないと十分な効果を発揮しないことが分かった。この知識は、ずっと覚えておきたい。
- ・薬物は、1度手を出すと止められなくなるから、絶対に手を出してはいけないと感じました。
- ・大麻などを乱用すると、脳が萎縮してしまい、幻覚が見えたりと恐ろしいことばかりです。
- ・中学生でも、薬物を使用している人がいると聞いて、すごく怖いと思いました。
- ・医療のきちんとした目的で、麻薬を使うときがあることも知りました。
- ・薬物使用は、自分だけでなく家族にも、他の人にも社会全体にも迷惑や被害を与えるので、何があっても絶対に手を出してはいけないと感じました。

アンサンブル コンテスト 素敵な演奏“木管5重奏” ～ワルツのメロディ高らかに～

12月12日(金) 全校朝礼の場で、県アンサンブルコンテスト(吹奏楽部)に出場する生徒たちの壮行演奏会を行いました。このコンテストは、今月20日(土)に大社文化プレイス・うらら館で開催され、吉中の演奏は、午後1時半に予定されています。ぜひ、ご来場いただき、吉中の木管五重奏をお楽しみ下さい。

このコンテストには、県内各中学校吹奏楽部から84団体が参加し、得意のアンサンブルを競い合います。昨年までは、コンテストにAの部・Bの部があり吉中からも多数の部員が参加していましたが、本年からは、Aの部だけとなり出場数にも制限が設けられました。各中学校吹奏楽部の精鋭たちによるアンサンブルだけに、高レベルの演奏が期待されます。

吉中からは、フルート(品川夢花)・クラリネット(芝原あゆみ)・アルトサクソ(草光悠輔)・ホルン(影山桂太)・バスクラリネット(影山真友美)で構成する木管五重奏が出演します。演奏曲は「J E T E V E U X」(フランス語でジチューヴ)で、壮行演奏会で初めて全校生徒に披露をしました。生徒たちの気持ちのこもったリズムカルな演奏は、自然と体が左右に揺れはじめ、大ホールでの華麗な舞踏会を連想させてくれました。

コンテストでは、吉中らしい息のあった木管五重奏で、聴く人に皆さんの思いを与えて下さい。

= がんばれ 吉中吹奏楽部 =



壮行演奏会 木管五重奏

平成20年も残すところ後わずかとなりました。吉田中学校は、地域の皆様、保護者の皆様の物心両面に渡るご支援ご協力のお陰をもちまして、本年も有意義な教育活動を実施することができました。心よりお礼を申し上げます。



吉田中学校ホームページアドレス

<http://www.city.unnan.shimane.jp/yoshida-chu/>